

## Ⅱ 事例研究

### 2 青少年の参画を目指す活動事例

# 私たちの手で新しい波(WAVE)をおこそう！ ～烏山青年の家ボランティア友の会ウエーブ～

高校時代ボランティアグループで活躍していた人たちが、高校を卒業してからも何かのかたちでボランティアに関わりたいとの思いから、烏山青年の家と連携を図りながら施設ボランティアとして活動中  
関わっている人<小学生、大学生、青年、成人>

☆活動名 地域のための生涯学習ボランティア（施設を中心として）

**【活動の趣旨】** 烏山青年の家の事業に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ること及び自己を磨き成長させることを目的とし、①烏山青年の家の主催事業への協力 ②会員の教養と親睦を図るための研修会やレクリエーション ③前記の目的を達成するために必要と認めた事業の3つを柱に活動している。



**【連携】** 宇都宮大学、県内青少年施設 等

**【対象・人数】** 大学生、青年、成人を中心とした14名

**【始めるきっかけ】** 平成12年の4月に正式に結成されたボランティアグループ「ウエーブ」は、近隣の町の高校生ボランティアグループを卒業した人たちやその知人で構成されている。きっかけとしては、青年の家の主催事業などで、ボランティアをしていたグループの一つが、高校を卒業してからもボランティアに関わりたいという希望から、友の会を結成したことである。

**【活動内容】**



利用団体の要望があった時や主催事業の「烏山わくわく学寮」「栃木っ子アドベンチャースクール」において、例年レクリエーションやキャンプファイヤーを取り入れており、その指導は「ウエーブ」レクリエーション指導が行っている。

---

また、「わくわくキンボール教室」では、進行・講師・審判を行う等の運営に携わったり、「烏山青年の家まつり」では、その企画及び当日の進行の一部まで担っている。

---

**【成果と課題】** 烏山青年の家の主催事業へ参画することにより、運営等において自主的な活動がみられるようになってきた。また、高校生ボランティアや他の成人ボランティアグループ等との連携により、活動にも広がりがみられるようになってきた。

近年、新しいメンバーが1～2名程度入会するが、逆に都合により脱会する人もいるので、メンバーの増減があまりない状況である。今後、活動の目的を理解したボランティアをどのように増やしていくか検討していきたい。

---

☆これから始める人へのメッセージ

身近なところで自分のできるところから始めましょう！

#### 烏山青年の家ボランティア友の会ウエーブ

代表者 星 大介

所在地 〒321-0627  
烏山町南1丁目562-3 栃木県烏山青年の家内

電話/FAX 0287-82-3142 / 0287-83-2007

E-mail [karasuyama-seinen@pref.tochigi.jp](mailto:karasuyama-seinen@pref.tochigi.jp)

U R L <http://homepage3.nifty.com/karasuyama-seinen/>

